

生命（いのち）の安全教育【高校】 動画教材活用の手引き

動画の狙い

「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きの内容を踏まえ、授業等において、教員等が生徒たちに効果的に「生命（いのち）の安全教育」を指導することができ、かつ、子供たちの理解を深めることを目的として作成したものであり、動画教材を活用して授業等を行う際は、事前に「生命（いのち）の安全教育」教材と指導の手引きを参照するなど準備した上で授業を行うこと。

動画教材の概要

高校向け動画教材は3つの場面に分かれており、全体を通して動画を視聴させるほか、場面ごとに分けて視聴させることができる。

- よりよい人間関係ってなんだろう⇒00：38～
- 性暴力とは⇒02：25～
- もし性的な暴力の被害にあったら⇒19：07～

指導のポイント

●よりよい人間関係ってなんだろう？

- ・距離感が守られていないときはどのようにすればよいかを生徒に考えさせる。
- ・自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。

【ワーク例】自他の安全を守るための『よい「心」と「体」の距離感』とはどのようなものか、ワークシートなどを用いて具体的に考えさせる。

【ワーク例】「よい人間関係とは？」「心の距離感」「体の距離感」について、動画視聴後生徒にそれぞれの意見を発表させる。発表にはタブレットなどを用いるのもよい。

●性的な暴力とは

- ・自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。

【ワーク例】動画内に示されたデータから明らかとなることは何か、生徒に考えさせる。考察の結果をタブレット等を用いて発表させるのもよい。

【ワーク例】対等でない関係から起こる性暴力の被害に遭いそうになったときどうすればよいか、ロールプレイング等で実践させる。

例：アルバイト先の上司から、SNSのアカウントなどをしつこく聞かれたとき

【ワーク例】動画視聴後、ロールプレイング等で、「いやだ」と言う実践をさせる。またその場から逃げ、距離をとることなども実践させる。

【ワーク例】動画視聴後、友だちが性暴力の被害に遭ったときにどうしたらよいか、どのような言葉をかけたらよいか、実践させる。

例：電車の中で友達が痴漢に遭っているのを見た場合等

●もし性的な暴力の被害にあったら

性的な被害に遭った後、安心できる大人に相談すること、二次被害について正しい知識を伝える。